

2023年12月30日



報道関係者各位

こども防災協会

たのしくボディボードで波乗り体験

【なみのぼうけん】を開催しました！

2023年8月5日(土)～6日(日)【青島青少年交流の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、8月5日～8月6日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「なみのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

開催概要: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【なみのぼうけん】

日程: 2023年8月5日(土)～6日(日)

開催場所: 青島青少年交流の家

参加人数: 合計47名

参加者内訳: こども30名(小学生、内 被災経験 0名) / ボランティア11名 / スタッフ4名 / バス運転手2名

ボランティア出身国: 全7カ国(バングラディッシュ、インド、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シリア、ベトナム)

ボディボードに挑戦!

まずはライフジャケットのつけかたや、波の避け方や超え方について陸上でレクチャーをうけます。その後、ひとり一枚ボディボードをもっていざ海へ。まずは海に浮かんでみるのところからスタート。徐々に波や風の流れをよんで、波乗りに挑戦していきます。低学年の子どもたちも、ボランティアのサポートを受けながら少しずつボードに身を任せることができるように。曇り空ではありましたが、波は穏やかだったので、子どもたちからは笑顔があふれ、純粋に波を楽しんでいる様子がみられました。



なつのレスキューゲーム

3~4人でチームに分かれ、災害時や緊急時に必要な実践的なスキルを学ぶゲームを行いました。心臓マッサージや、レスキューロープの結び方、熱中症時に役立つ経口補水液の作り方など、ステージ1から8まで順番にまわっていきます。チームの中でも高学年の子たちが率先して低学年のメンバーを助けながら、協力してクリアしていく様子が印象的でした。2日間のキャンプを通じて学んだスキルを活かせる内容も多く、復習もかねて、楽しみながら学びを実践していました。



参加した子ども・保護者からの声

「海のクイズで、水の怖さを知りました。本当に災害が起こったらきちんと人を助けられるようになりたいです」

<団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名:こども防災協会

担当者名:鹿島 美織

電話:090-6684-9696

メールアドレス:volunteer@kodomo-bousai.net